



第 34 回 (1 月下旬号)

『2009 年版 通訳ガイド英語必勝攻略ゼミ』

(坂本治昭・著、同友館・刊) その②

by 柴田耕太郎

著者の坂本さんとは面識があり、熱誠溢れる英語教育家として尊敬申し上げている。本書の中でも有難いことに、好意的に拙著を紹介してくれている。

大学の授業に役立てようと本書に載っている「通訳案内業試験」を自分でやって解答と照らし合わせたところ、疑問に思う箇所がいくつかでてきた。

より良い本にしていただきたく、あえて以下、翻訳の視点から検討してゆきます。

p196

2006 年度 通訳案内士国家試験第 1 次試験問題

1. 以下の文章の下線部(1)、(2)を日本語に訳しなさい。

(1)My most striking surprise was that the image of Japan as a profoundly inward place no longer applies. To someone who has lived for long periods in America and Western Europe, there is nothing particularly challenging about Japan. All the familiar landmarks of urban life are there: the same suicidal bike messengers, the same seasonal store sales, the same credit cards. To be sure, the language is tough. But in recent years, all signs in the subway and many in the streets have been printed in English as well as Japanese. (2)My next surprise discovery was the increasingly integrated immigrants, foreigners and ethnic Japanese from places like Peru and Brazil. There's the Indian cashier in my local supermarket, always ready to help out when the hapless foreign customer's Japanese comes up short. There's the Filipino storeowner whose shop fits so neatly into its street in western Tokyo that it can be easily missed.

（本書に載った解答 * 下線は悪訳、 は誤訳部分）

- (2) 私の次の驚きの発見は、ますます（ア）人種の差がなくなりつつある移民者、外国人、ペルー①、ブラジル生まれの②異国風の日系人であった。
- 私の（イ）地方③マーケットには、インド人の出納係（レジ担当）が居て、外国人の顧客が、哀れにもその日本語が手詰まりになると、いつもすぐに介添えをしてくれる。
- ④その店が、西東京の町並みに、⑤きちんと馴染んでいるので、⑥なかなかその店を訪ね当てるのが難しいフィリピン人の店主が営む店もある。

（ア）integrated は(1)統合された(2)人種差別をしない、で解答は(2)をとっている(それにしても「人種の差がなくなりつつある」では意味が判然としないが、この文脈からすれば(1)で、「融合している」ととるべきだろう。

- ① カンマとの偉さの違いが分りにくいので、ナカグロにしたほうがよい。
- ② ethnic をランダムハウスの第5義でとっているが、おかしい。ここはジーニアスの第1義「(現在の国籍ではなく)生地[祖先の地]の」の意。「日系人」の中に ethnic の意味は含まれているので、訳出不要だろう。
- （イ）これでは「田舎」と読めてしまう。local は「地元」ということ。
- ③ マーケットでは「(何かの取引をする)市場」と読めてしまう。そのまま「スーパーマーケット」でいいだろう。
- ④ 指示語の「そ」が先にでて後出語を指す語法は、基本として日本語にはない。トル。
- ⑤ 「きちんと」と「馴染む」のコロケーションがよくない。
- ⑥ 力点が異なる。「探すのが難しい」でなく「その店が外国人の経営だと気がつかない(ほどすっかり溶け込んでいる)」と言いたいのだ。

（解答に手を入れた修正訳）

私の次の驚きの発見は、ますます一体化されつつある移民者、外国人、ペルー・ブラジル生まれの 日系人であった。

私の地元のスーパーマーケットには、インド人の出納係（レジ担当）が居て、外国人の顧客が、哀れにもその日本語が手詰まりになると、いつもすぐに介添えをしてくれる。

 西東京の町並みに、すっかり馴染んでいるので、探そうすると見つけにくいようなフィリピン人の店主が営む店もある。

（モデル訳）

もうひとつ驚いたのは、移民、外国人、ペルー・ブラジルの日系人がどんどん混じり合ってきていることである。私の住居近くのスーパーにもインド人のレジ係がいて、言葉の不自由な外国人が困るとすぐ、何くれとなく世話をする。西東京の通り沿いのフィリピン人の営む店も、すっかり町並みに馴染んでいて、探すのに却って苦勞するほどである。